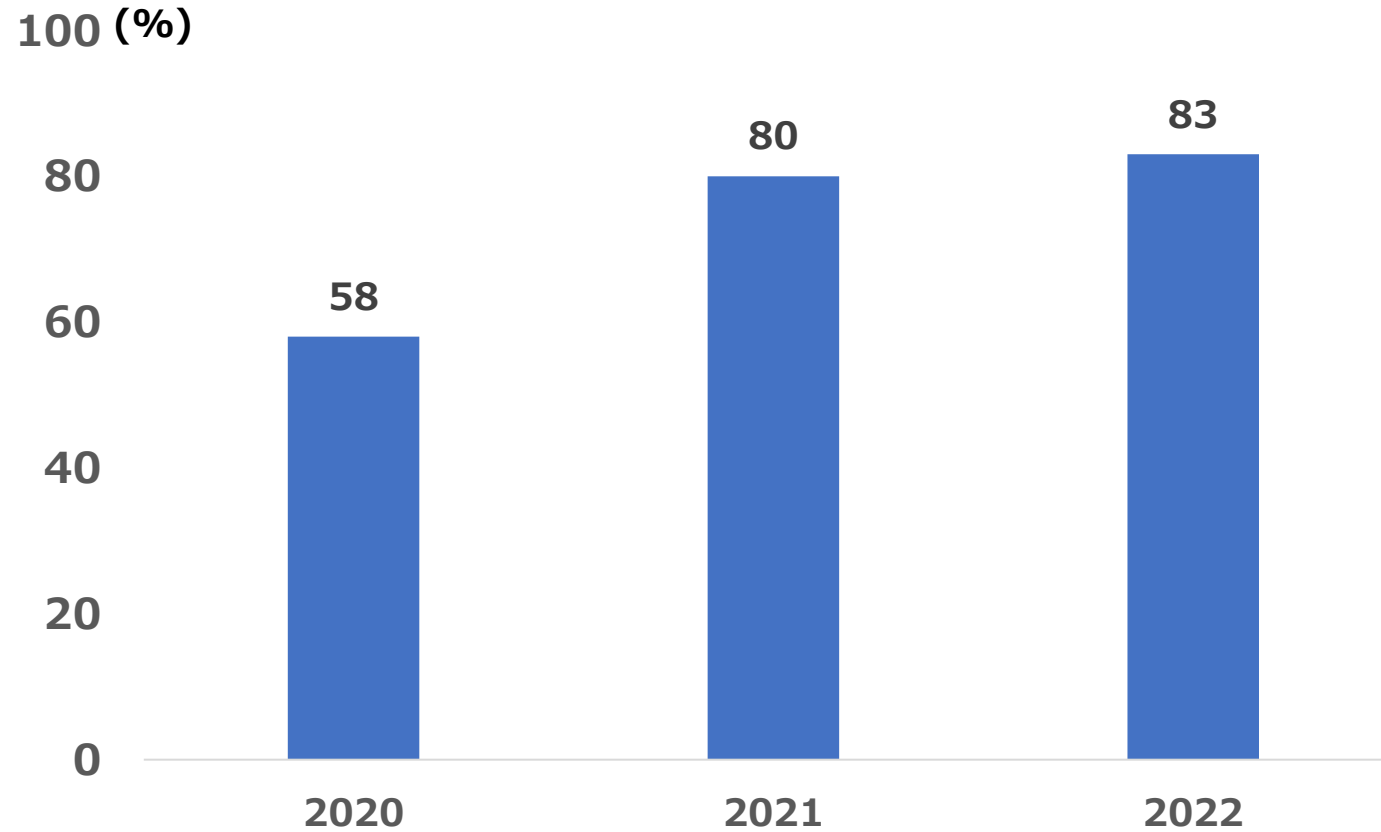


臨床指標

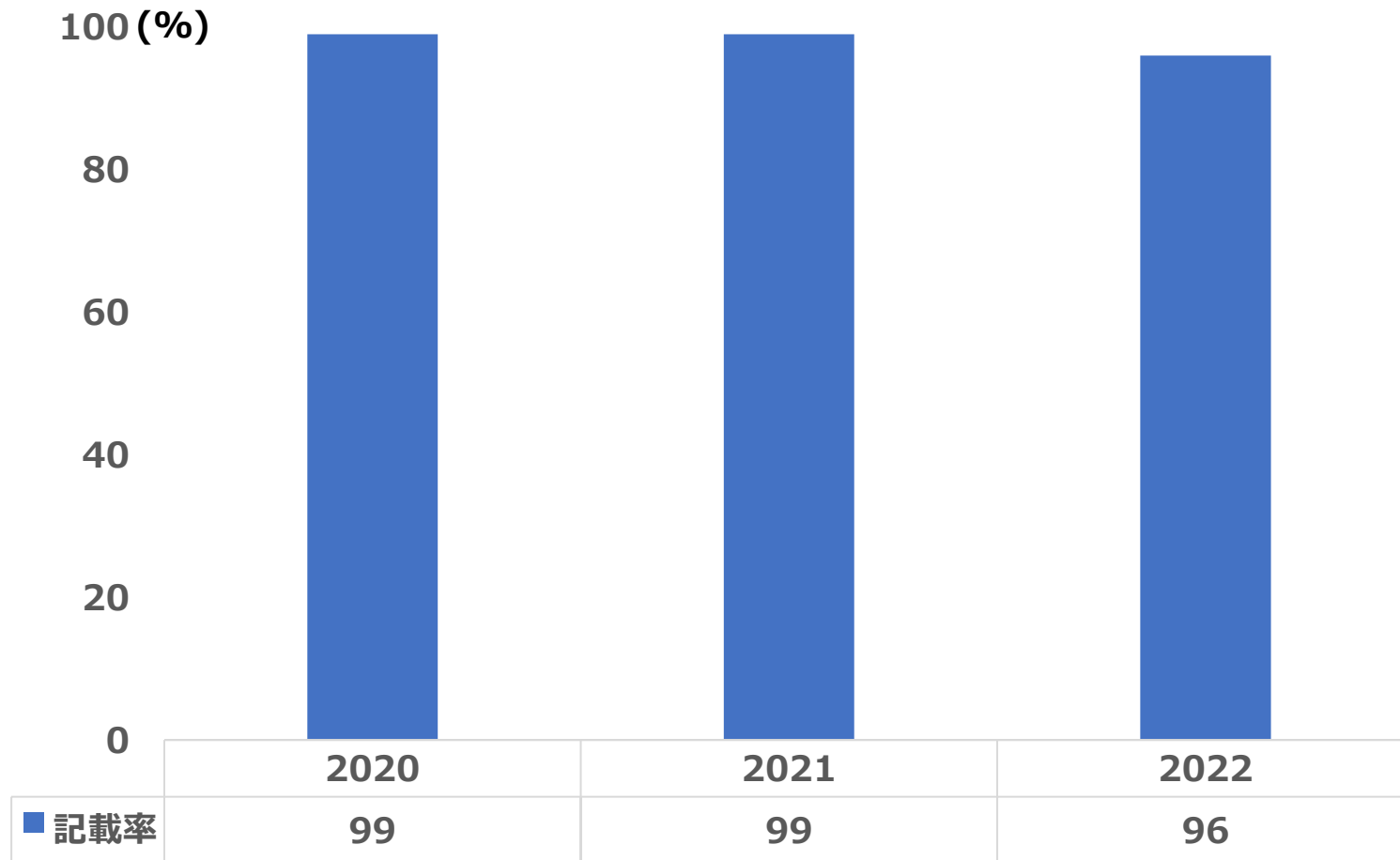
臨床指標(クリニカルインディケーター)とは、医療の質を定量的に評価する指標のことで、医療の過程や結果から課題や改善点を見つけ出し、医療の質の向上を目的とするものです。現在当院で掲げている臨床指標を公表し、改善を図り医療の質の向上に取り組んで参ります。

CT・MRIレポートの確認率



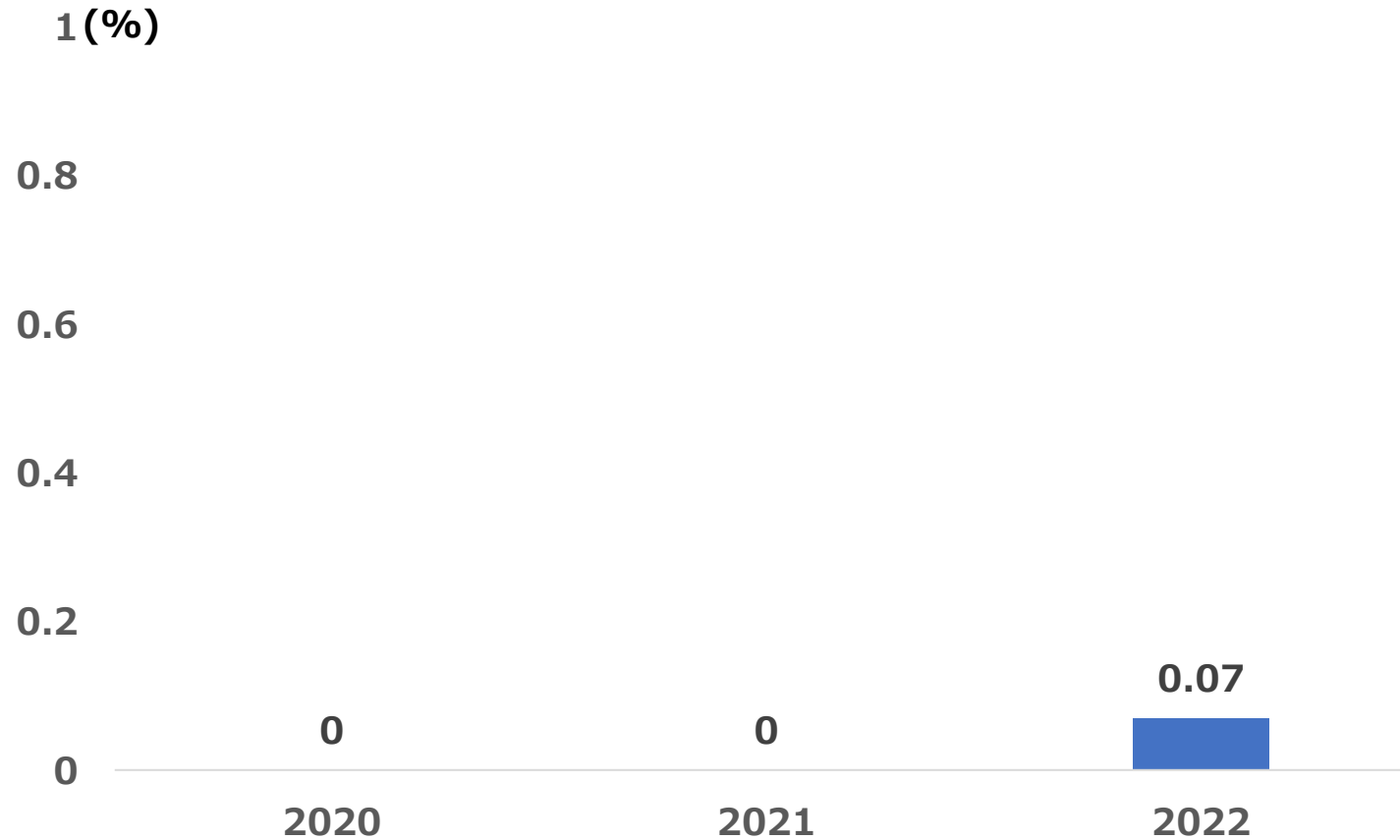
CTおよびMRI全例に放射線科医のレポートがつきます。放射線科医から悪性腫瘍などの重大な異常が指摘されているにも関わらずCTおよびMRIを指示した医師がレポートを確認せずに放置されることがないように放射線科の協力の下毎月医局でチェックし医局員に周知しています。

2週間以内の退院サマリー作成率



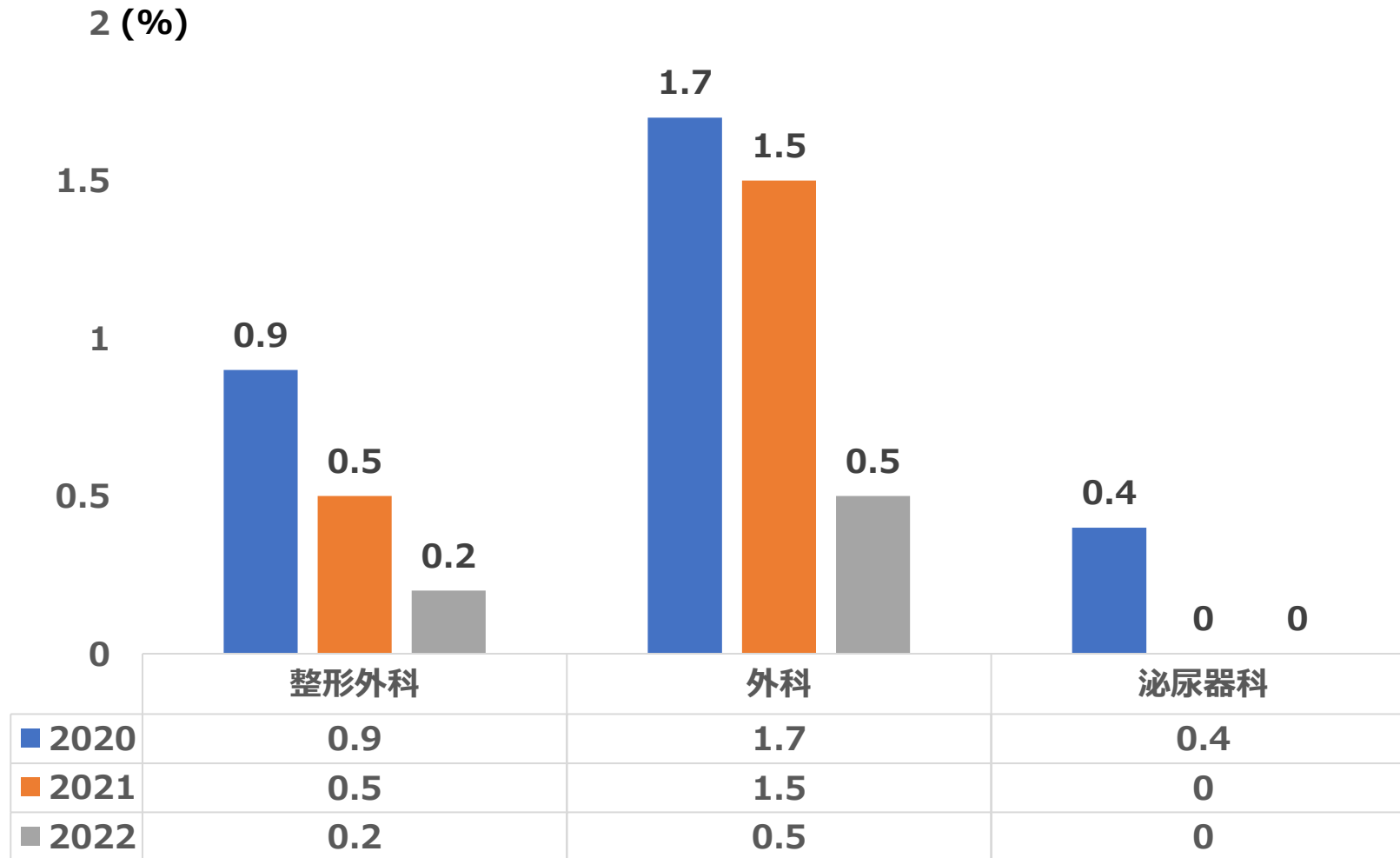
診療情報管理士が退院サマリーが早期に作成されているかチェックしています。退院サマリーが記載されていない場合、1週間毎に各医師別に未作成リストが配布され作成を促しています。このため当院では退院後2週間以内の退院サマリー作成率が96%以上を維持できています。

術後肺梗塞率



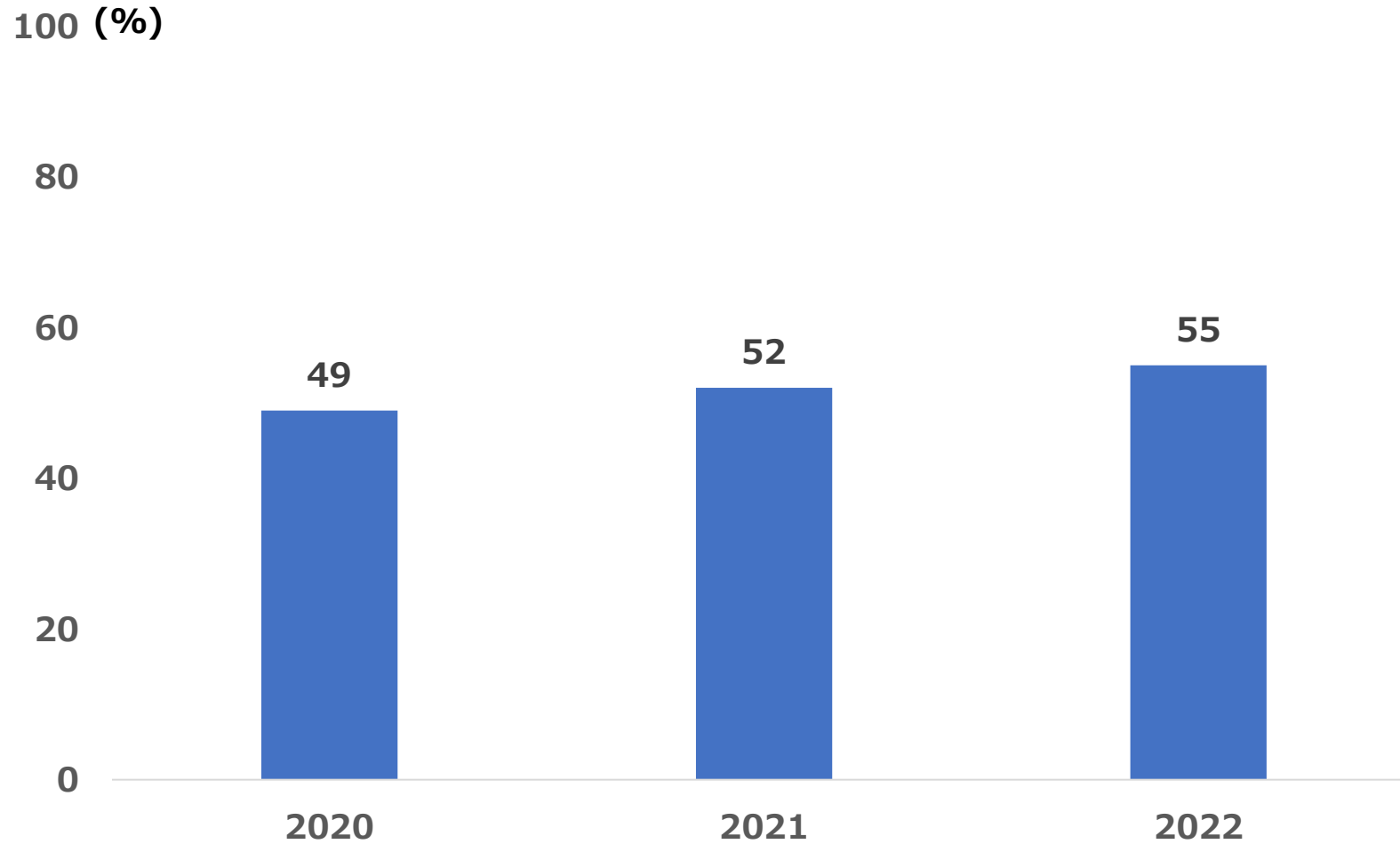
2020年度および2021年度には術後肺梗塞は生じておりませんが2022年度1例大腿骨頸部骨折術後に肺梗塞生じ救命できませんでした。整形外科では術前深部静脈血栓のリスクを点数化し評価し早期離床、弾性ストッキング着用、空気圧迫装置など使用し肺梗塞の予防に努めています。

SSI(手術部位感染)



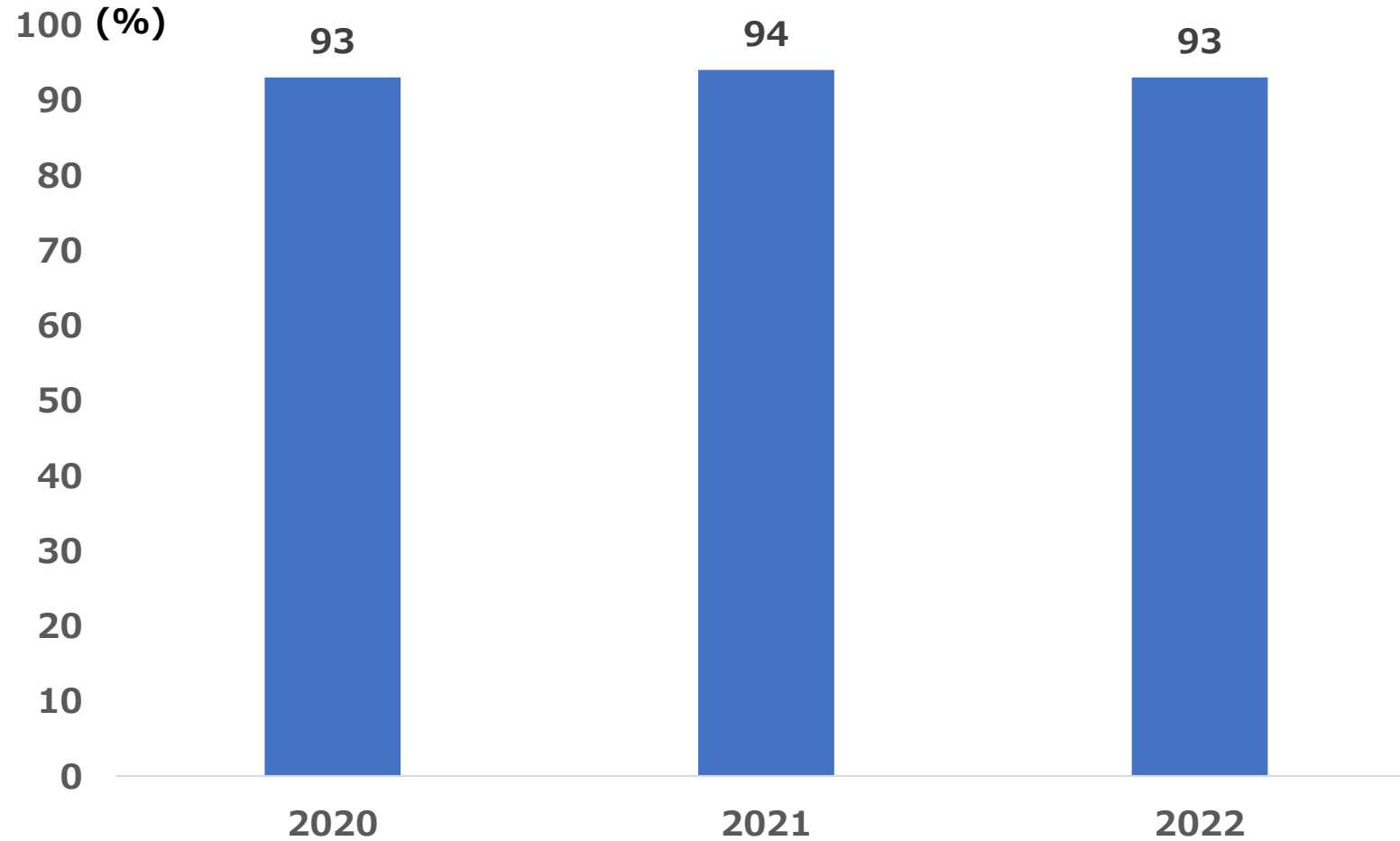
外科系では毎月開かれている手術室安全管理委員会で整形外科・外科および泌尿器科のSSIを報告・集計しています。

クリニカルパス使用率



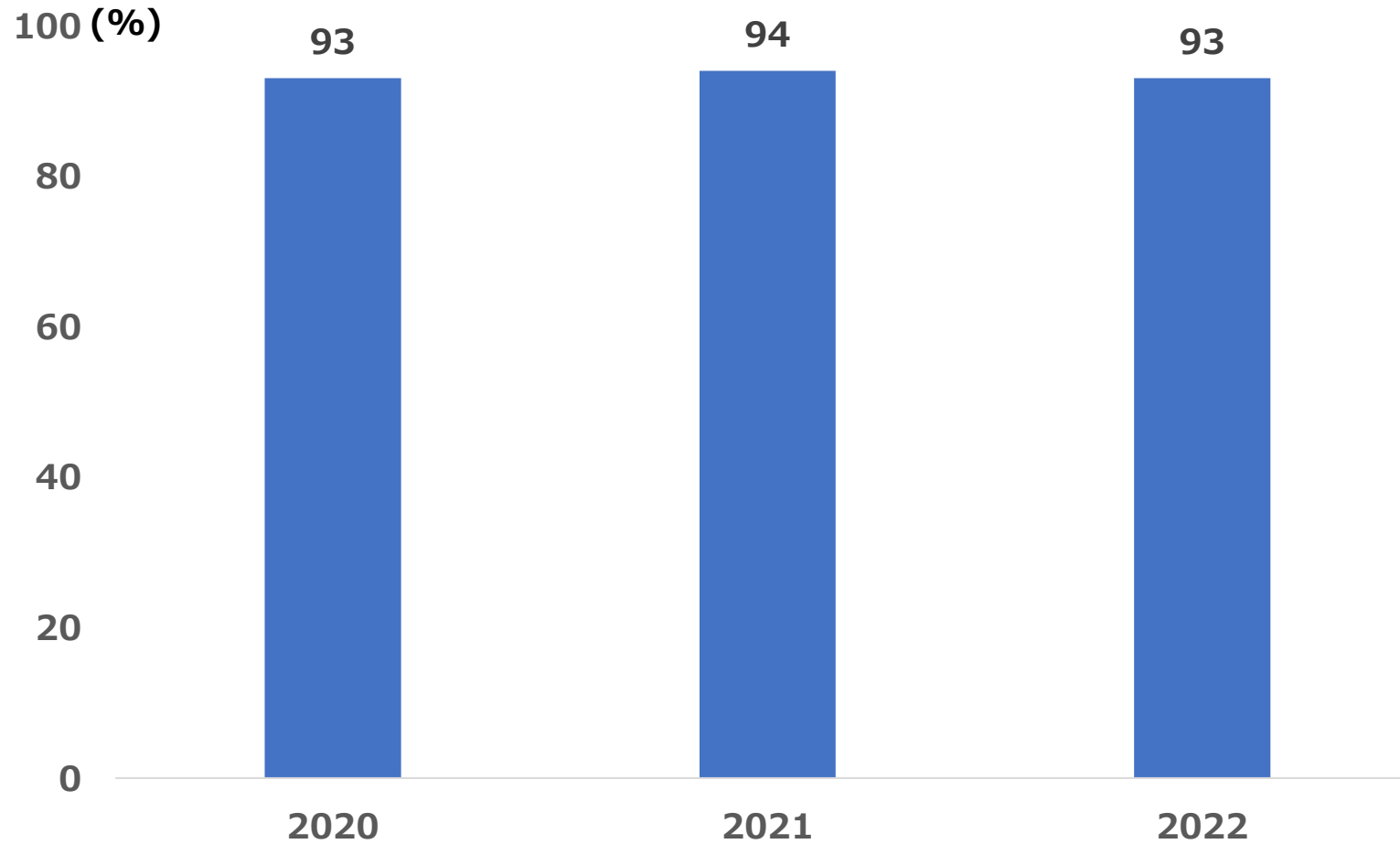
各診療科では治療することが多い疾患などについて診療内容をスケジュール表にしたクリニカルパスを作成し診療の標準化をおこなっています。

職員の禁煙率



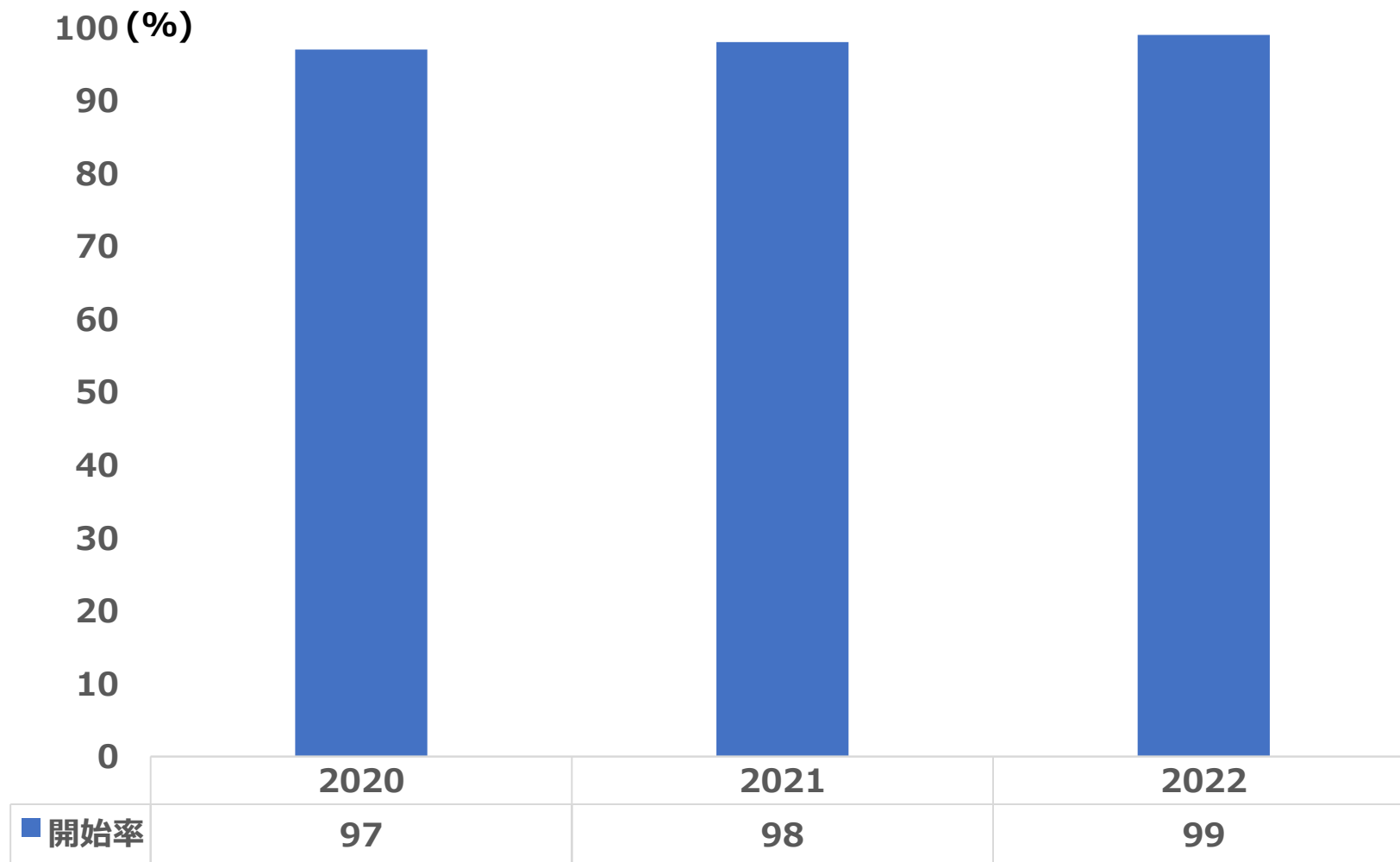
健康増進を図る立場の医療機関に勤務する従事者としての自覚をもって禁煙を行い、同時に受動喫煙をなくしていきたいと考えています。職員健康診断のカルテに喫煙の有無の記入欄があり禁煙率を把握しています。

職員の予防接種率



職員のインフルエンザワクチン接種は無償で行っており、アレルギーなどで接種できない場合を除き医療業務に支障を来さないよう接種を勧めています。

術後早期リハビリ開始率(整形外科)



整形外科手術後4日以内に行われたリハビリ開始率を示します。リハビリスタッフの増員により土曜日にも新規リハビリが開始できる体制が整いました。金曜日に手術が行われた場合も土曜日からリハビリを開始することが可能となり術後早期リハビリ開始率が向上しています。